



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011-2012 年度 RI テーマ
RI 会長 カルヤン・パネルジー
地区ガバナー 大澤 徳平




海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1681 回例会 平成 23 年 11 月 21 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. 出席報告
会員総数 60 名 出席者数 40 名
出席率 66.67% 前回修正出席率 70.00%

4. 会長スピーチ 会長 田村 健治 君

この週末は大変な天気で、紅葉見物などの計画が狂ってしまった方もおられたのではないのでしょうか。残念でした。

さて今日のお知らせですが、先月の理事会に於いて、昨年度の規定審議会の決定事項である、定款改正などに伴うクラブ細則について、改正を承認しました。それをお知らせしますと共に、2 週間後の年次総会で、皆さんにおはかりさせていただきます。内容を要約しますと、これまでの 4 大奉仕部門に新世代を入れて 5 大奉仕部門とした為、理事が一人増えたことです。その理事を、新世代委員会の委員長である吉川博之さんに、今年度の後期よりなっていたことになりました。詳しい内容は、メールでご覧ください。

もう 1 つのお知らせは、2640 地区の空席だったガバナーエレクトがようやく決まったことです。既にガバナーノミニーに選出されていた大阪狭山 RC の北中登氏が任命されました。その為、急拠また新しいノミニーを選ばなくてはならないことになりました。いったいどうなっているのでしょうかね。

さて、先週は今注目の TPP とりわけ医療問題について少しお話をさせていただきました。2, 3 日前 NHK テレビでその道の専門家たちによる TPP についての討論会番組がありました。皆さんご覧になりましたか？しっかり理解させてもらえるかと期待しましたが、残念ながら、なるほどと思うほど説得力のある発言はなかったですね。私にはそう思われました。医療問題は

とか成りそうですが、農林水産業即ち一次産業がどんな影響を受けるのか、非常に心配です。食料の自給率が益々下がるようなことがあっては国家の一大事ですから。今日はこれで終わりますが、また勉強してためになる情報が入ったらお話をさせていただきます。

5. 幹事報告 幹事 山畑 弥生 君

- 例会臨時変更のお知らせ
新宮 RC 11 月 30 日(木)→12 月 3 日(土)
16:00～ 東宝ボウル 親睦ボーリング
和歌山南 RC 12 月 2 日(金) →12 月 2 日(金)
12:30～ ルミエール華月殿
和歌山西 RC 12 月 14 日(水) →12 月 14 日(水)
18:00～ 忘年夜間家族例会
海南西 RC 12 月 15 日(木) →12 月 17 日(土)
17:00～ 神田屋 忘年例会
有田南 RC 12 月 20 日(火) →12 月 20 日(火)
18:30～ 橘屋 クリスマス家族例会
有田 2000 RC 12 月 21 日(水) →12 月 17 日(土)
クリスマス例会
高野山 RC 1 月 6 日(金) →1 月 6 日(金)
17:00～ 新年例会
田辺 RC 1 月 11 日(水) →1 月 11 日(水)
18:00～ ガーデンホテル「ハナヨ」
新年家族例会

○休会のお知らせ

- 有田南 RC 12 月 27 日 (火)
田辺東 RC 12 月 28 日 (水)
和歌山西 RC 12 月 28 日 (水) 1 月 4 日(水)
有田 2000 RC 12 月 28 日 (水)
海南西 RC 12 月 29 日 (木)
高野山 RC 12 月 30 日 (金)

○ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

堺市堺区北三国ヶ丘 1-1-16 C 棟 14 号
TEL 072-224-2640 FAX 072-224-2650

○12 月のロータリーレート 1 \$ = 78 円

○例会終了後、臨時理事会を開催します。

11月はロータリー財団月間です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 田村 健治 幹事: 山畑 弥生 SAA: 岩井 克次

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

6 会員卓話

○前田 克仁君

東日本大震災後の漁業復興と繊維ロープ業界について、お話しします。北海道・三陸は日本最大の漁業生産地でマス定置網等が行われています。震災で壊滅的被害を受け、カキ・ホタテ等貝類、昆布、ワカメ等海藻類、サケ漁に深刻な影響を及ぼしています。これに対して、国の1次補正予算では、5月2日に成立した水産庁2,150億円(本予算2,000億円)、漁船・定置網200億円 漁協1/3負担、養殖240億円 漁業者1/9負担(激甚災害)となっています。漁業の復旧では、北海道で5月～6月のホタテ養殖用資材では、人的被害なく復旧への動き早かった。岩手ではワカメ養殖。各漁協毎に決断ができ、サケ定置網業者は大半が再開の意思があり、県の補助率もアップした。宮城では、1つの漁協に統一されているため全体としての意思決定が遅れ、県の方針も遅れている。総合的に見て当初の予想を上回る早さで復旧へ向けて動き出すもよう。

繊維ロープの需要は、定置網用資材一、ホタテ・カキ・ワカメ、昆布養殖用資材として、PPロープの需要が大量に発生。一業界規模160億円。漁業関係昨対5月～8月160%前後、9月では200%・繊維ロープ業界始まって以来の特需があった。ただし、漁期の加減で納期がなく、原料・材料も不足しています。リーマンショック以降、震災前までは雇用調整助成金を受け週3～4日休業。復旧予算は25年3月までの期間限定で、数年後の反動をおそれ大幅増員・設備増強もできず残業。休日出勤等で対応しているが、人も機械も疲労した。10月末で一段落(漁期に間に合うタイムリミット)。1丸でも多くのロープを製造し納品することが漁業被災者の支援に直接つながるといいます。当社の状況は、西日本とりわけ九州地区に特化しているため直接の販売先はないが、同業者からの依頼を受け、その量の多さに北海道・三陸の漁業の規模の大きさを改めて実感しました。残業・休日出勤で対応し、海南、野上地区の同業他社も同様の状況です。来年以降は計画的な発注で納期に余裕があり、間接的な需要まであるかが不透明です。

また、国の3次補正予算は11月21日に成立の見込みで、全体で12兆円(水産庁5,000億円 内漁港・漁村復旧2,500億円)。漁業だけでなく各方面で本格的な復旧・復興が始まります。繊維ロープ業界としてモノづくりをすることでさらなる貢献をしていきたい。



○三木 正博君

私の現在思う、たわい無い事について、お話しします。

私が今まで生かされてきて、ようやく高齢者の仲間に至ったのですが、最近、町内でもよく頭に浮かぶ事は、同年代の人でも、考え方や行動の仕方について、大変元気に暮らしている人とそうでない人に分かれてしまっているように思います。なぜ、そんなになってしまったかは、理解しにくいのですが、多分、おかれている環境のせいだと思いますが？私なりに思うのですが、元気な人はお友達が多く、努めて外に出かけ、いろんなことに挑戦している人だと思います。一方、そうでない人は孤独で、積極的でない人です。連れ合いが亡くなられた方は、特に寂しそうに感じられます。元気を取り戻してほしいです。そして、自分の相性の良いお友達を探して、遊び心を取り戻し、多に人生を楽しんでほしいです。男性仲間でも良いし、異性なら、もっと楽しいと思います。食事や話等に努めて、一緒に出かけられたら、元気が出ると思います。

また、人間は社会にご奉仕することによって、少しリッチになれたような気がします。これも大事なことです。私は今でも現役で、若い人たちに負けないくらい仕事をしています。お蔭様で健康も今のところ上々です。多少は物忘れもありますが、いろんな事に挑戦しています。日曜大工が好きで、棚とか机を作っていますが、作るより道具類に凝ったりする方で、コーナンに結構、支払いました。大体、3日に1回は出かれます。そして、定員さんと友達になりましたが、この間、海南のスナックでバッタリ会いました。これも楽しい出来事です。私は頼まれると断れない性分で、引き受けてしまいます。人に協力することは良いことですが、後で難儀することもあります。ロータリークラブの皆さんには、色々なことを教えてもらい、また、助けていただきました。これからも、皆さんに協力して出きる限り頑張りますので、よろしくお願ひします。



○倉橋 利徳君

職業柄、今日はがん検診について、お話しします。

がんによる死亡者数は年間30万人を越え、死亡原因の第一位となっています。一部のがんでは早期発見・早期治療が可能です。がん検診は、がんの死亡率を減少させることができる確実な方法ですので、是非、皆さんも受けてみてください。

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させることです。検診の対象は症状のない人です。

また、がん検診の基本条件は、がんになる人が多く、また死亡の重大な原因であること。がん検診を行うこ



2012年
国際大会

2012年5月6～9日
"微笑みの国"タイ
バンコク



の関係が極めて大切であることを強調します。「私たちとロータリーは今、支援が難しいアジアやアフリカの地域における母子の健康改善に向けた第一歩を踏み出したところです」

「ロータリー国連デー」のパネル討論には、世界保健機関（WHO）のジェイコブ・クマレサン所長、ユニセフのポール・エドワーズ・シニアアドバイザー、「ONE Campaign」米国担当のグニー・ウルフ専務理事、フィリップ・クリデルカ・ユネスコ代表、「水と衛生のロータリアン行動グループ」のロン・デナム委員長といった顔ぶれが揃いました。

ロータリーと国連には、66年に及ぶ協力の歴史があります。ロータリーは今日、国連機関の多くを監督する国連経済社会理事会により、非政府組織として最高の諮問的地位を与えられています。

伝説的ボクサーが ポリオ・ノックアウト宣言

世界の伝説的ボクサーにして、母国フィリピンの政治家であるマニー・パッキャオさんは、数々の対戦相手を打ち破ったボクシングのリングを超え、人類の敵ポリオの撲滅に向けて闘っています。

マニラ 101 ロータリークラブ会員であるパッキャオさんは、世界各地の著名人が協力しているロータリーの「This Close（あと少し）」ポリオ撲滅キャンペーンに参加しています。

ボクシング史上最多の階級制覇を達成しているパッキャオさんは、先日ラスベガスで行われたファン・マヌエル・マルケス選手とのタイトル防衛戦でも勝利を収めました。試合前には「This Close」の写真が印刷されたTシャツを着て練習をしました。このTシャツを持参したマニラ 101 クラブ会長、リザ・イローデさんによると、パッキャオさんは、Tシャツを着ることに快く同意してくれたそうです。

イローデさんの息子さんもプロボクサーで、ロータリーの歯車が縫いこまれたボクサーパンツでリングに上がったそうです。ポリオ撲滅キャンペーンを心の底から応援しているイローデさん。ご家族にはポリオ生存者がおり、「小さなことでも、撲滅のためにできることなら何でもする」とイローデさんは熱意を打ち明けます。

ロータリーは、パッキャオさんが生まれた翌年、1979年にポリオ撲滅活動を開始しました。以来、フィリピンを含む世界の国々で、数多くの子どもたちに経口ワクチンを与えてきました。



インドでさらに高まる ポリオ撲滅への決意



インドでは過去 10 カ月間に報告されたポリオ感染数がわずか 1 件。ポリオ撲滅へ向けての意気込みがますます高まっています。

準全国予防接種日の 11 月 13 日には、ロータリアンが活動を支援する中、3,500 万人以上の子供たちに経口ポリオワクチンが投与されました。このワクチンは、未だ根強く残る 2 種類のポリオワクチンに対して効果のあるものです。黄色のベストと帽子を身に付けたロータリアンは、予防接種の支援に加え、無料の保健キャンプ、ポリオ認識向上集会も開催し、集まった子供たちにバナー、帽子、お面、漫画本などをプレゼントしました。11 月 20 日に、インドのウッタルプラデシ州で開催された保健キャンプでは、第 3700 地区（韓国）のロータリアンが活動を支援し、ここでも子供たちへのポリオ予防接種が行われました。この保健キャンプはインドのロータリアンが地元のユニセフ事務局と協力して開催したものです。イベントの後にも、各家庭を戸別訪問して回り、まだ予防接種を受けていない子供たちにワクチンを投与していきました。その様子は韓国のテレビ局撮影チームがカメラに収め、「End Polio Now」のメッセージとともに韓国国内で放映されています。ムンバイでは、ロータリーの 2 億ドルのチャレンジ委員長を務めるジョン・ジャーム氏、ロータリー財団管理委員のアショク・マハジャン氏、RI 事務総長のジョン・ヒューコ氏が、地元のロータリアンとともに、予防接種活動に参加しました。ヒューコ事務総長は、今月の「Hindu Business Line」に寄稿し、次のように述べています。「今年、全世界では 500 件を超えるポリオ感染が報告されています。インドでの感染例はそのうちのたった 1 件であるという事実は、インドが国を挙げて、また世界中から支援を受けて、ポリオを撲滅しようとする強い決意を反映しています」

インドでは、1 月と 2 月に次回の全国予防接種が予定されているほか、6 月まで、関連の保健行事が企画されています。また、国内における野生型ポリオウイルスに対する厳重な監視活動も継続されます。

世界保健機関（WHO）のブルース・アイルワード氏は、去る 9 月にロータリーの国際ポリオ・プラス委員会会合に出席し、インドでのポリオ撲滅に大きな期待を寄せていると話しました。「過去 12 カ月間、ロータリーが、インドでの監視活動に大変力を入れてくださったおかげで、インドでポリオがなくなる日はすぐ目前に迫っています」